

◆記録で分べん間隔の短縮を

繁殖成績の向上は、飼料給与の管理はもとより個体の繁殖記録を克明にとることが重要です。

とくに、分べん後の発情記録は重要で、微弱な発情でももれなく記録して毎日、発情予定牛を記録から探し、牛の状態を観察して発情の発見に努め、どんな発情も見逃さないようにしてください。

産後3カ月以内に受胎させることを目標に、分べん後20日以上、陰部から「おりもの」が続く場合、分べん後40日経っても発情不明の場合、二回授精しても発情が再来した場合には、早急に獣医師に相談することが必要です。発情の観察と記録は毎日の仕事に組み入れ、発情の見逃しをなくすることで、牛群の分べん間隔を短縮することができます。